



令和6年5月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

アントクメ養殖試験・生長が確認できました

西伊豆の漁業者が2月29日から田子漁港内においてアントクメの養殖試験に取り組んでいます。昨年の取り組みでは沖出し後に種苗が魚に食べられてしまったので、今回は円柱状に作成した防除ネット（写真）を用いて食害対策を徹底しました。また、設置する水深による生長の違いを調べるため、種苗を水深約2mと約4mに設置しました。

4月4日の観察では、魚による食害の痕は確認されず、順調にアントクメが生長している様子が観察されました。また、水深4mに設置したアントクメの方が生長率が高い傾向にありました。4月26日の観察では、水深4mに設置したアントクメの生長がより顕著に観察されました。

養殖試験は5月中旬まで実施する予定です。



↑食害防除ネットと種苗



生長したアントクメ→

大熱海ヒラメ種苗中間育成始まる

大熱海漁協（熱海、上多賀）では、4月19日に温水利用研究センター産のヒラメ稚魚を受入れ、漁業者による中間育成を開始しました。中間育成とは、稚魚が放流に適した大きさになるまで、水槽や生簀の中で人の手によって育成することです。今年、熱海で1万3千尾、上多賀で7千尾のヒラメを受入れ、その平均全長は27.7mmでした。今後、稚魚が約60mm程度に成長するまで水槽内で育成し、5月の中旬から下旬に放流が行われる予定です。



↑活魚トラックから稚魚を取り出す様子



↑熱海のヒラメ育成水槽

地元の浜で観察会～白浜小学校～

4月25日、身近な海に親しもうと、白浜小学校の全校児童が地元板戸の浜で磯観察を行いました。児童達は、地区の漁業者から漁業権について、伊豆分場職員から採取時のルールや身近な海にいる危険な生物について説明を受けた後、岩陰やタイドプールにいる様々な生き物を触ったり観察したりしました。

こういった体験の積み重ねを通じ、成長し大人になる過程で、伊豆の海や漁業に興味を持ってくれることを願っています。



↑児童に磯の生き物を説明する漁業者と分場職員

5月の予定 ●イセエビ測定 ●伊豆地域栽培推進協議会（7日伊東） ●伊豆いとう地魚王国総会（13日伊東） ●下田高校研修（17日） ●県定置網漁業協会総会（24日伊東） ●キンメダイ漁場環境予備調査（27日駿河丸） ●技術連絡協議会（29日浜名湖） ●東部漁業士会役員会（31日稲取）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。